

手話講座（初級）受講者募集

手話（よく使う手話）

※一般的な表現方法を紹介しています。

あいさつ

「おはようございます」



こめかみにあてた右拳を下ろした後、おじぎする。

「こんにちは」



2指を伸ばした右手を、顔の中央にあてた後、おじぎする。

「こんばんは」



両手を目の前で交差させた後、おじぎする。

「よろしくお願いします」



握った手を真にあてる。

「お待ち下さい」



右手の甲をあごに当てる。

「もう一度お願いします」



あごの下から、握いた右手の人差し指と親指を「せ」と動いて、人差し指をたてる。

「ありがとうございます」



左手の甲に直角にのせた右手を上上げる。

「さようなら」



手を振るしくさをする。

「わかりました」



右手を胸に当てて下ろす。

「よろしくお願いします」



右手を顔の中央から少し下に下ろしながら、おじぎする。

「お待ち下さい」



右手を顔の中央から少し下に下ろしながら、おじぎする。

「もう一度お願いします」



右手を顔の中央から少し下に下ろしながら、おじぎする。

手話とは、手指や顔の表情などを使って伝達する手段で、五十音に対応する指文字と手話単語によって構成されています。

手話は、2011年8月に改正された障害者基本法において「言語の一つ」と位置づけられ、2014年1月には、日本が批准した国連の障害者権利条約においても『「言語」とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう』と定義づけられており、今後、手話による意思疎通や情報取得の機会拡大が求められています。

手話を学び利用することで、耳の不自由な方とのコミュニケーションに活かすことができます！
学内で学べるこの機会をぜひ活用してください！！

〔日 程〕	5月16日・23日・30日 6月6日・13日・20日・27日 7月4日【全8回】 （秋学期には中級内容の講座を開講する予定です）
〔曜 限〕	水曜日 4限(14:40～16:10)
〔場 所〕	千里山キャンパス 第2学舎2号館5階 C502教室
〔費 用〕	無料
〔受講資格〕	関西大学の学生（大学院生も含む）及び教職員
〔申込方法〕	窓 口 申 込：学生相談・支援センター （月～金曜日 9:00～17:00） メ ー ル 申 込： shien@ml.kandai.jp 宛に 件名に「手話講座（初級）参加希望」 本文に「学籍番号、氏名、電話番号」を入力してメール送信してください。 申込締切日は5月7日（月）です。 （メール申込の方には確認メールを返信します。）